

## 平成30年度 事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年度は、公益目的支出計画として位置付けている実施事業等会計区分事業（緑化推進、緑化普及啓発等）計画の一層の執行を図ると共に、その他会計として区分している事業（岐阜公園、葉草園、収益事業）についても着実な執行を図ることを念頭に事業を進めた。

以下、事業概要を報告する。

### 1 実施事業等会計

#### (1) 実施事業等（公益目的）緑化推進事業

##### ① 緑化推進事業

##### ア 花飾り講習会の開催

市民を対象に年5回(13日間)開催、体験教室を通して花の栽培、生育に係る知識の普及を図る。

最近流行しているハーバリウムを実施。各講習会とも応募者が多く盛況であった。

参加者に緑化推進として、機関誌、カレンダー(月別種子付き)、種子(季節の花の缶詰め・カーネーション等)及び、花と緑のガーデニングノート等を配付した。家庭での緑化推進に寄与

実施日及び参加者数 計 537人 (前年度 517人)

|       |                 |      |
|-------|-----------------|------|
| 参加者内訳 | 5月22、23、24、25日  | 160人 |
|       | 9月20、21日        | 64人  |
|       | 11月27、28、29、30日 | 179人 |
|       | 3月7日            | 34人  |
|       | 3月12、13日        | 100人 |

##### イ 樹木医診断の実施

民有地緑化の主となる樹木の適正な維持管理

市民からの依頼に基づき、樹木医を派遣し相談に応じた。

保存樹・保存樹林の定期健康診断を実施

診断件数 45件 1,404,000円 (前年度 45件 1,404,000円)

##### ウ 保存樹・保存樹林への対応

市内で指定された保存樹・保存樹林の適正な維持管理

台風に伴い、保存樹・保存樹林に被害があり、倒木及び倒木の恐れがあるとのことで、伐採及び解除を行った。

- ・保存樹等管理者講習会の開催  
7月27日 南部コミュニティセンター 42人 (前年度36人)  
「樹木の剪定・手入れの仕方」と題して林講師（農林水産省指定樹木医）により講義を実施  
メネデール（植物活性剤）及び育て方の本等を配付
- ・保存樹・保存樹林の補助金交付事業  
登録数 保存樹 74件 保存樹林 20件  
保存樹 61件 395,000円 (前年度 65件 418,000円)  
保存樹林 20件 490,000円 (前年度 20件 490,000円)
- \*保存樹74件のうち13件については、補助金を辞退  
13件のうち6件は、管理者自体で管理できるので、補助金を辞退  
7件は、指定解除

## ② 緑化等普及啓発事業

### ア わが家のシンボルツリー記念樹配付

配付本数 605本 986,040円 (前年度 628本 953,640円)

第1回 平成30年11月18日 287本

第2回 平成31年 3月17日 318本

配付場所を岐阜市役所西駐車場で100%配付

民有地緑化推進パンフレット、花と緑のある暮らし、みどりのまちだより及び緑化推進種子を配付

### イ 各種の奨励補助金の交付

民有地緑化の普及を図るため各種の補助金を交付する。

・張芝奨励補助金交付 36件 1,015,000円  
(前年度 33件 955,000円)

・生け垣づくり奨励補助金交付 5件 136,500円  
(前年度 9件 249,650円)

大型店舗（7店舗）、住宅展示場、造園業者、建築関係業者に民有地緑化事業のパンフレットを配布した。

岐阜市において、新たに「ブロック塀等撤去費補助事業」が施行されました。当該補助事業は撤去費を対象としていることから、撤去後の対策の一つとして財団の「生け垣づくり奨励補助金制度」の広報を岐阜市ホームページの関連ページへ記載及び広報ぎふへ掲載（問い合わせ3件の内1件実施）

### ウ 市民活動団体への活動支援

緑化等普及啓発に資するよう市民による関連活動の促進を図る。

#### ・緑化団体支援

ふれあい花壇団体交流会を年2回（6日間）実施

南部、北部、西部コミュニティセンターで実施。参加者に緑化

推進として、種子（チビッコヒマワリ・アスター・フロックス・ナデシコ）及び冊子「花と緑のガーデニングノート」等を配付した。

参加団体 241 団体

参加者数 570 人（前年度 560 人）

参加者内訳 6月5、6、7日 286 人（前年度 277 人）

10月24、25、26日 284 人（前年度 283 人）

春(ベコニア・日日草・メランポジューム)、秋（パンジー）の花苗を224 団体に配付実施

・ 自然環境保全活動団体支援

岐阜市自然環境の保全に関する条例に基づいた団体に対し、財政的な支援として補助金を交付

9 団体 570,000 円（前年度 9 団体 570,000 円）

③ 緑化基金造成、管理

主催又は参加するイベント時に基金活動を行う

基金活動を兼ねて以下のイベントに参加し、緑化啓発パンフレット、種子及び花の配布を行った。

ア 一般募金額 総計 206,826 円（前年度 193,111 円）

・ 第46 回道三まつり（若宮町歩行者天国）H30.4.8

36,100 円（前年度 40,310 円）

・ フローラリー岐阜（長良公園） H30.4.29

37,414 円（前年度 25,200 円）

・ 第62 回ぎふ信長まつり（若宮町歩行者天国）H30.10.7

32,300 円（前年度 32,100 円）

・ 第8 回ふれあい緑化フェア H30.10.27

10,300 円（前年度 8,301 円）

・ 第17 回岐阜市まるごと環境フェア H30.11.11

28,000 円（前年度 24,400 円）

・ シニアワークフェア H30.11.24

24,100 円（前年度 23,000 円）

・ 第67 回ぎふ梅まつり H31.3.9

38,612 円（前年度 39,800 円）

・ 団体寄付金（岐阜市）1 件

岐阜市役所29 部所の職員から、球根（チューリップ）の配布に併せて緑化基金を募集した。

989 口 500,079 円（前年度 1,000 口 495,443 円）

イ 緑化基金現在高

前期末残高

300,252,096 円

当期増加高  
当期末残高

706,905 円  
300,959,001 円

(2) 実施事業等（継続） 梅林公園管理事業

市の業務仕様の着実な執行と共に、下記の事業を行った。

- ① 梅の木の診断を実施。エリアごとに分けて3年間で全体を実施しています。

今年度 221 本実施内、1 本枯れ伐採、5 本枯れかけ、13 本に一部枝が枯れ衰退している樹木等があるため活根肥料として、バイオビリオン及びバーディールーラージの施肥を実施

- ② 剪定した梅の木をチップ化し、マルチ材として活用し、循環型社会の形成に寄与する事業を行った。（梅まつりで無料配布）
- ③ 梅の木紹介看板をポールに設置し、梅の木を守ると共に見やすくしPRに努めた。 紹介看板 60枚、ポール60本
- ④ 梅の開花時期に合わせて、梅だよりとして財団ホームページに週1回、計11回掲載。市のホームページにもリンクしている。  
利用者から好評であるとの意見を頂いた。
- ⑤ 岐阜県造園緑化協会岐阜支部の造園業者による梅の木の剪定が実施された。
- ⑥ 市民参画社会形成の一環として地元校区のアダプト・プログラム（梅林公園守る会、D51守る会）の皆さんへの清掃用具の貸し出しを行い、園内の清掃・管理を協働で行った。  
平成31年3月9日（土）には、市民主体で実施される梅林公園「第67回ぎふ梅まつり」に実行委員として参画し、募金活動を兼ねて緑化普及啓発事業を行った。

2 その他会計事業

(1) 他1 岐阜公園等管理事業

岐阜市との協働による公園維持管理業務（臨時職員及びアルバイト職員の計2名を派遣）、来園者駐車場（堤外駐車場、堤外第2駐車場、大宮町駐車場）及び華松軒（和室、茶室等）の管理業務並びに使用料収納業務事務を行い、公園来園者のサービス向上に努めた。

① 駐車場の利用状況

- ・堤外駐車場（収容台数 143台）  
利用総数 78,462台（前年度 88,379台）  
一日平均 214台（前年度 242台）
- ・堤外第2駐車場（収容台数 36台）  
利用総数 29,649台（前年度 35,134台）

一日平均 81台 (前年度 96台)

・大宮町駐車場

(収容台数 バス9台(普通車13台)、障がい者等12台)

利用総数 バス 2, 248台 (前年度 2, 420台)

一日平均 6台 (前年度 6台)

自家用車 14, 653台 (前年度 16, 238台)

一日平均 40台 (前年度 44台)

② 岐阜公園来園者環境整備状況

ア 来園者に対する誘導をスムーズにするための環境整備を行った。

- ・パンフレット「岐阜公園駐車場案内図」の作成
- ・大宮町駐車場入口一旦停止サイン設置
- ・堤外駐車場出口進行方向表示板整備

イ 岐阜公園、岐阜城・金華山への来訪者に対する「おもてなしの心」の一環として、岐阜公園駐車場に花のプランターを設置した。

ウ 来園者無料休憩所南側にゴーヤによる「緑のカーテン」を設置し、緑化推進と休憩者に対し涼の提供を行った。

エ 華松軒の利用促進を図るための施設サイン(看板)を設置した。

③ 日本の伝統文化「茶の湯」の体験と普及啓発のための市民茶会として「一期一会茶の湯」を開催し、46人(申込者51人)の参加が得られた。

(2) 他2 薬草園管理事業

① 岐阜薬科大学の指示・指導の下、薬草園の維持管理及び市民への薬草に関する正しい知識の普及に努めた。

② ボランティア勉強会を毎月第2水曜日に実施した。

③ 標本中央畑他8ブロックにおいて、栽培、除草、清掃、種子採取、収穫、植替え等を実施した。

④ 一般公開(毎週月、水、金、日曜日)

開園日数 183日 (前年度 210日)

見学者 1, 322人 (前年度 1, 629人)

オウレンの特別公開中止、及び台風等の自然現象により開園日及び見学者数が減った。

⑤ オウレン特別公開は、畜産センターで豚コレラが発生したことにより、中止となった。

(3) 他3 自動販売機事業等収益事業

当財団の貴重な運営財源である収益事業の概要は、次のとおりである。

|           |              |                   |
|-----------|--------------|-------------------|
| ・ 自動販売機事業 | (設置数 29 台)   | (前年度 29 台)        |
| 収益額       | 4,174,477 円  | (前年度 4,467,160 円) |
| ・ 立礼茶席事業  | 利用者数 7,859 人 | (前年度 10,677 人)    |
| 収益額       | 3,037,480 円  | (前年度 4,094,100 円) |
| 総合計収益額    | 7,211,957 円  | (前年度 8,561,260 円) |